

ほうれんそう



《新・尼崎の本棚 144》

尼崎市立北図書館

尼崎市南武庫之荘3-21-21

TEL (06) 6438-7322

FAX (06) 6438-7344

<https://www.amagasaki-library.jp/>

『ほうれんそう』第500号記念 命名の由来

北図書館だよりの第1号は、1981(昭和56)年5月の発行でした。当初は、一般向けと児童向けの2種類あり、その後タイトルの変遷を経て、現在の形になりました。『ほうれんそう』という紙名は、1993(平成5)年1月号・第123号が初出です。その由来を当時の紙面から引用すると、『ほうれんそう』は、きれいなみどり色をした栄養のある野菜です。ポパイが『ほうれんそう』を食べると元気になるように、本がみなさんの『ほうれんそう』になることを願って名づけました。」とあります。北図書館の開館当初、周辺は田畑が多く、その中にほうれんそう畑もあったのではないのでしょうか。「農業だより 野道」のバックナンバーには、尼崎市中心卸売市場の市内産野菜(そさい)流通量が掲載されており、「ほうれんそう」は通年流通しています。

兵庫県でほうれんそうが商品作物として栽培されたのは、大正末期から。以降、瀬戸内海沿岸地域を中心に栽培面積が増え、1964(昭和39)年に過去最高の568haに達しました。西宮・尼崎・伊丹は大阪・神戸の大都市に近い立地条件を活かし、長距離輸送に向かない葉物野菜を集中的に栽培する、近郊農業のまちです。この地域は全般に、砂質土壌の畑が多く、根の張りが良く、葉が大きいほうれんそうが育ちます。特に冬は寒さにあたることで甘みが増し、おいしくなります。阪神地域の葉物野菜の主力品目でもあるほうれんそうは、年間を通じて収穫を途絶えさせないよう、品種選定や種まきから収穫・出荷まで、計画的に行われています。

工業都市のイメージが強い尼崎ですが、農地は市域の2%あり、尼崎市内産野菜を「あまやさい」としてブランド化し、都市農業について知ってもらう取り組みを行っています。

(「北図書館だより」バックナンバー 尼崎市立北図書館 編集/発行)

「農業だより野道」農業だより野道編集委員会 編集/発行

尼崎市サイト「尼崎市産野菜の「あまやさい」ブランド化への取り組み」

<https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/manabu/nouen/1020434.html>

●農業に関する本●

『ホウレンソウの絵本』かがわあきら/へん いしくらひろゆき/え 農山漁村文化協会	221343285
『尼崎の農業を語る 262』 尼崎市立地域研究史料館/編集・出版	330033576
『シティ・ファーマー』ジェニファー・コックラル＝キング/著 白井和宏/訳 白水社	310407276

2月

日	月	火	水	木	金	土
①	2	3	4	5	6	7
⑧	9	10	⑪	12	13	14
⑮	16	17	18	19	20	21
⑳	㉓	24	25	26	27	28

3月

日	月	火	水	木	金	土
①	2	3	4	5	6	7
⑧	9	10	11	12	13	14
⑮	16	17	18	19	㉒	21
㉒	23	24	25	26	27	28
㉑	30	31				

二月:如月

「衣更着」とも書く。寒いので衣服をたくさん重ね着するという意味。

別名:梅見月、木芽月、雪解月

行事:節分、立春、初午、針供養、春一番、バレンタインデー

田遊び:稲が収穫できるまでを演じ豊作を祈願する。能狂言の習慣も残る。

(参考「心をそだてる子ども歳時記12か月」橋本裕之/監修 講談社)

印の日はお休みです

<図書館の休館日> 開館時間 午前9時~午後8時(日曜・祝日は、午後5時15分まで)

おはなし会だよ！全員集合

【日 時】2月14日(土) 午後2時～3時
【場 所】3階集会室
【対 象】どなたでも
【定 員】70人
【申 込】不要



子どもから大人まで楽しめる、絵本を使わずに語り聞かせるおはなし会です。
語り手はボランティアグループ「ひまわりの会」の皆さんです。
当日は直接会場にお越しください。

北図書館クイズラリー 怪盗Kからの挑戦状

【日 時】2月14日(土)～3月14日(土) 午前9時～午後5時 ※休館日を除く
【場 所】館内
【対 象】どなたでも
【定 員】なし
【申 込】不要



図書館内を巡る、子ども向けの謎解きクイズラリーです。
参加を希望される方は1階のカウンタースタッフにお申し出ください。



大人の図書館ツアー



【日 時】2月21日(土) ①午前10時～10時45分 ②午前11時～11時45分
【場 所】館内
【対 象】中学生以上
【定 員】先着20人(各回10人)
【申 込】2月8日(日)～ 1階カウンター、または電話にてお申し込みください

普段は入ることができない書庫などを図書館スタッフのご案内します。
また、図書館の便利な使い方や豆知識もご紹介します。



<2月展示のご案内>

一般大展示 「ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック」
2階展示 「図鑑再発見」



大人のための朗読会

【日 時】 2月18日(水) 午後2時から1時間ほど

【場 所】 3階 集会室

【内 容】 『夕映え天使』より

「琥珀」 浅田 次郎／著

朗読はボランティア「ま・どんな」のみなさんです。

※状況により、内容の変更・中止になる可能性があります。

人を読む

中野京子

〔なかのきょうこ〕生年不詳、北海道生まれ。1979年早稲田大学大学院修士課程修了。作家、ドイツ文学者。著書に「怖い絵」シリーズ、『危険な世界史』『絵の中のモノ語り』『希望の名画』などがある。

『中野京子が語る橋をめぐる物語』

中野 京子〔著〕／河出書房新社

橋は二つの異なる世界、日常と非日常を結び、戦争における最重要地点にも、怪異の起る場ともなる。絵画や小説に出てくる橋、金門橋、ロンドン橋など、いろいろなエピソード満載の物語。『北海道新聞』連載をもとに加筆訂正し再編集。

『中野京子の西洋奇譚』

中野 京子〔著〕／中央公論新社

ハーメルンの笛吹き男・マンドラゴラ・ドラキュラ・コティングリー事件など、西洋で語り継がれる不思議な伝承や事件に隠された恐ろしい真実とは何か。中野京子が長短さまざまに語る21の「怖い話」。『婦人公論』連載を単行本化。

『そして、すべては迷宮へ』

中野 京子〔著〕／文藝春秋

若き日のイタリア旅行で絵画に涙したこと、絵画に描かれる人についての考察や、大学で教えていた時の興味深い出来事など。芸術・人物・本についてを章立てで綴る、初のエッセー集。新聞、雑誌に掲載された各エッセーの初出に加筆・修正した文庫オリジナル。

『オペラでたのしむ名作文学』

中野 京子〔著〕・

宇田川 のり子〔絵〕／さ・え・ら書房

「シンデレラ」「椿姫」「ホフマン物語」「ファウスト」「カルメン」のオペラ五作品を、元になった原作のストーリー紹介や登場人物解説などをまじえながら鑑賞する。わかりやすい言葉で書かれた、楽しいオペラの入門書。【小学5～6年生】

早稲田大学、明治大学などで講師を務めた経歴を持ち、専門はドイツ文学、西洋文化史。西洋の歴史や芸術・オペラに関する知識をもとに、絵画を読み解くエッセイや、歴史解説書などを執筆する。2017年「怖い絵」展の特別監修や、舞台『怖い絵』の監修を務める。他にも講演会・講座など多方面で活躍する。

児童室

おはなし会



第1・第2・第3 土曜日 場所:3階集会室

おひざ (0~2歳くらい) 午後2:00~
 小さい人 (3~5歳くらい) 午後2:15~
 大きい人 (小学校低学年) 午後2:40~

2/7(土)

●おひざのうえ

「ごくらくもんちゃん」
 「きらきら」

○小さい人

「どうぞどうぞ」
 「世界でいちばんきれいな声」

◎大きい人

「おにはうちふくはそと」
 「四人のなまけもの」

2/14(土)

「おはなし会だよ！」
 全員集合

午後2時~3時
 先着70名



2/21(土)

●おひざのうえ

「とっとこととこと」
 「くだものぱくつ」

○小さい人

「まどのむこうのくだものなあに？」
 「おなかのかわ」

◎大きい人

「ぐうたらねこ」
 「ひやくにんのおとうさん」



第1・第3 水曜日
 あかちゃんひろば

場所:1階絵本コーナー
 2/4(水)、2/18(水)
 午前11:00~11:20

0歳~2歳くらいのお子さんと保護者向け
 赤ちゃん絵本、わらべうた、手遊びなど



第2・第4 日曜日

場所:1階ロビー 2歳くらいから
 2/8(日)、2/22(日)
 午前11:00~11:20
 季節の絵本や紙芝居など

2月

今月の展示

『ふゆのほん』



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4 🐰	5	6	7 🐶
8 🐶	9	10	11 🐰	12	13	14 🐶
15	16	17	18 🐰	19	20	21 🐶
22 🐶	23	24	25	26	27	28

☐ 日・祝日は午後5時15分まで